



きむら のぶゆき  
**木村 信之**

尚美学園短期大学6期生(ホルン専攻)

**略 歴**

|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 昭和63年   | 尚美学園短期大学卒業                      |
| 昭和63年   | 株式会社日本総合音楽研究入社                  |
| 平成2年    | 春日部市立豊野中学校教諭                    |
| 平成10年   | 春日部市立春日部中学校教諭                   |
| 平成14年   | 埼玉県長期研修派遣教員<br>東京芸術大学大学院音楽教育研究室 |
| 平成18年   | 久喜市立久喜東中学校教諭                    |
| 平成24年   | 久喜市教育委員会指導主事                    |
| 平成29年   | 宮代町立百間中学校教頭                     |
| 平成30年   | 久喜市立太田小学校校長                     |
| 令和2年～現在 | 久喜市立太東中学校校長                     |

**主な役職歴**

日本マーチングバンド協会理事  
埼玉県吹奏楽連盟副理事長  
埼玉県中学校文化連盟会長  
埼玉県鼓笛・金管バンド連盟副会長  
埼玉県音楽教育連盟副連盟長  
埼玉音楽教育連盟会長

尚美で学んだ2年間は尚美音楽短期大学から尚美学園短期大学へと校名変更され、新たな学科が新設されるなど現在の尚美学園大学につながる転換期の年であった。入学時は尚美音楽短期大学、卒業時には尚美学園短期大学と不思議な気持ちもあったが大学経営も時代の流れを敏感に受け止め時代の先を読んだ結果だと認識している。

校名は変更されても音楽的な学びでは一流の講師陣を誇り、多くの学びをいただいた。一般教養科目ではこの令和の時代に求められているグローバルな視点での学びをすでに実践しており音楽だけでなく幅広い知識や価値観をこの2年間で学ぶことができた。

尚美に進学したのは理由がある。2年間という時間の中で中学校音楽の教員免許を取得して教員になるためだ。その後、一般企業を1年間経験し臨時採用を1年間経験の後採用試験に合格して教壇に立った。

「音楽を教えるのではなく音楽で教えるのだ」という恩師の言葉は今でも胸に刻まれている。吹奏楽とマーチングに明け暮れた教諭時代から、現在は校長職を務め学校のコンダクターとして指揮をしている。「祈りは実り」尚美の学びは今も生きている。

本校にも尚美を卒業し体育の教員を目指す臨採教員がいる。尚美の後輩諸君には夢をあきらめず食欲に学び夢を実現して欲しいと同じ埼玉の地で願っている。